



やしろ

矢代小学校だより
平成23年度 第5号
12月1日

この秋に、どんな力をたくわえたのかな

節電に取り組んだ夏が過ぎたと思っていたら、いつの間にか秋も終わり、冬を迎える頃となりました。

学校でも11月19日に保護者の皆さんの協力を得て校舎の冬囲いをしました。

さて、子どもたちは、この秋に様々な体験をしました。妙高市や上越地区の陸上大会への参加、校内マラソン大会、そして矢代っ子祭り、妙高市音楽祭。

こうした活動を通して子どもたちは、緊張の中で自分の力を発揮できた体験から、自信を高めたことでしょうか。それとともに、当日までの練習や準備で実感した級友との協力の大切さ、それが互いを思いやる信頼へと発展したのではないのでしょうか。

秋は、まさに自分の力を試す季節であるとともに、その過程で培った力や自信を一人一人がしっかりとたくわえる季節でもあると思います。この「たくわえた力」を生かして、これからの厳しい冬をエネルギーに過ごしてほしいと願っています。

木々が、夏の輝きから生んだ栄養を果実にギュッと凝縮するように、子どもたちもこの秋の様々な体験から得た力をしっかり心と体にたくわえ、より高い目標に向かってそれぞれがチャレンジして欲しいと願っております。

これから寒い時期になると、何かとおっくうになり、こたつにもぐって過ごしがちですが、「やるんだ！」という気力を高めて長い冬に立ち向かって欲しいものです。

子どもたちは、この秋にどんな力をたくわえたのでしょうか。一人一人がたくわえたものの種類も量も違うとは思いますが、長く厳しい冬を乗り越える力となることでしょう。

あと1ヶ月ですが、充実した2学期のまとめができるよう支援していきます。



9月30日の校内マラソン大会。子どもたちは、小雨の矢代地区を力走しました。保護者の皆さんの声援が力になりました。



たくさんの学校が参加する上越地区陸上競技大会。その中で、全力を出し切った走りをする事ができました。



矢代っ子祭りに出演して下さった妙高高原中の皆さんからマーチングの動きを教えてもらいました。「いち、に、さん」の声に合わせて、ステップできました。今までにない交流の体験でした。

矢代小学校のなぞ その1

児童玄関に立つ二宮金次郎の像。
重いマキを背負いながら読書する姿は、私たちに勤勉と努力の大切さを訴えています。

でも、像と台座が少し不自然に感じます。そこで、昔の写真を調べると、もともとあった「彰忠碑」(大正13年建立)を撤去し、その跡に金次郎さんを据えたことが分かりました。だから金次郎さんも、もともとの正面だった石段の方を向いているのです。88年間の時の流れを実感する写真ですね。



全校で落ち葉をかたづけました



あんなにしげっていた葉っぱが、全部落ちている。だから、すごい量なんだ。



初冬を迎え、校地にはたくさんの落ち葉が積もりま
す。そこで、11月28日の昼休み、縦割り班ごとに
場所を決め、片付けに挑戦しました。高学年が下級生
に指示をする姿、最後まで一生懸命に落ち葉を集める
姿が、矢代っ子の真面目さ、忍耐強さを伝えます。



ネットの下の落ち葉もきれいに!

力を合わせれば運べる! うんとこしょ! どっこいしょ!



落ち葉は、カサカサして、気持ちいいね。



こんなに集めたよ。もっともっと集めるぞ!

